

－ 経歴書 －

令和 4 年 9 月 1 日版

【歴史・文化財・伝統建築についての専門分野・研究テーマ等、所属研究会等】

- ・ 中世・近世城郭史（城下町） ※主に 16 世紀以降の近世城下町の形成過程について
 - ・ 近世・近代民家史（町家、農家住宅） ※直近では、佐渡、亀岡、木之本、富田林など
 - ・ 奄美群島の中世・近世史 ※城郭・墳墓など石造文化で読み解く島々の歴史
- ・ 一般社団法人日本建築学会 近畿支部

【文化財登録等を目的とした研究調査の参加実績】

[令和 2 年度]

- ◆ 「富田林寺内町・東奥谷家住宅調査（主屋 1 棟、付属屋 5 棟）」
近世末期の大型町家である東奥谷家住宅の主屋始め付属屋の特徴と価値を定める調査
（京都府立大学、富田林市教育委員会）
- ◆ 「北國街道木之本宿・明楽寺伽藍、各建築調査」
（京都府立大学、長浜市教育委員会）

[令和 3 年度]

- ◆ 「亀岡近世農家住宅調査（主屋 2 棟）」
摂丹型民家の国登録有形文化財指定に向けた調査
（立命館大学、亀岡市教育委員会）
- ◆ 「北國街道木之本宿・近世近代町家調査（主屋 6 棟、付属屋多数）」
木之本宿の余呉型町家の近世から近代に至る町家建築の総合調査
（京都府立大学、立命館大学、長浜市教育委員会）
- ◆ 「佐渡相川町近代鉦山住宅調査」
佐渡金銀山、佐渡鉦山の世界文化遺産登録を推進する活動の一環で、相川中京町の鉦山住宅や京町通りの街並みの歴史的評価を定める調査
（立命館大学、佐渡市世界遺産推進課）

[令和 4 年度]

- ◆ 「 亀岡・旧丹波亀山城下伝建調査 」
城下町の総堀跡を含む伝統的建造物等の包括的な調査
（立命館大学、亀岡市教育委員会）
- ◆ 「 信州・諏訪地方たてぐるみ土蔵伝建調査 」
諏訪地方特有のたてぐるみと呼ばれる土蔵の構造形式から景観に至るまで包括的な調査
（立命館大学、住空間史学科研究会）
城下町の総堀跡を含む伝統的建造物等の包括的な調査
（亀岡市教育委員会）

【地域社会への貢献や建築士の研鑽に関わる取り組み】

公益社団法人大阪府建築士会（以下、同会） 社会貢献委員会 地域分科会「建築士の会 いずみ野」において、地域の歴史や文化にまつわる市民参加型イベントや、建築士同士の研鑽のための勉強会などの企画運営を行っている。（昨年より代表幹事を務める）

同会においてはその他、建築相談委員として市民からの建築相談を受けたり、防災分科会委員として罹災証明書の発行支援や地震保険の鑑定支援に携わったり、応急危険度判定士として被災地派遣の待機要員にもなっている。

公益社団法人日本建築家協会近畿支部においては、住宅部会や青年委員会に所属し会内外に向けたイベント企画等を定期的に行っている。

その他、（一社）大阪府建築士事務所協会に所属。

【メディア出演】

令和元年度にFMいずみおおつにて、レギュラー番組「北條豊和のお城てくてく」に1年間出演し、古代、中世、近世そして遺跡として現代に繋がる城郭の系譜を詳しく解説した。またこれからの未来のまちづくりや社会に城郭はどう活かされていくのか、現代に生きる我々にとって城郭とは何なのか考察した。

令和3年度からは同じくFMいずみおおつにて、レギュラー番組「日々是建築」に出演しており、建築に関わる歴史、伝統、景観分野の専門家や、まちづくりや防災などの社会貢献に力を入れる建築家を順にゲストに招き、一般市民に対して建築に関わる取り組みなどを紹介している。（令和4年4月からは2年目）

【コミュニティマネジメント】

奄美大島・名瀬港近くの港湾倉庫をコンバージョンしたシェアオフィス「Amamin' Base」を運営。奄美大島を訪れる観光客の平均宿泊日数が2.6日であることを考えると、離島であるがゆえ宿泊日数の少ない多くの方が来る場合と比較して、人数は少なくとも一度来た方に長く居てもらおうという観点が重要である。いわゆるブレジャーによる延泊をしやすい環境づくりを基本に捉えつつ、コロナ禍を経てビジネス出張が減少する時代に、レジャーの合間にある程度まとまった仕事をするのでそのまま滞在継続できるような環境をもっと緻密に考えていかなければならないと感じ、ワーケーション拠点をつくることにした。ワーケーションにはじまり、他拠点居住、そしてIターンを見据え、地域資源は既にそこに存在しているからこそ、来る人迎える人の相互の未来のため、持続可能な創意工夫がますます重要になると信じている。

【城と石垣の撮影活動】

21歳の頃から約15年間、全国の主に城郭跡や石垣の写真を撮り続けている。現在残る日本の都市の原型は、いわゆる近世城郭と言われる江戸時代のはじまり前後以後に築城もしくは改修された城郭が起点となっているケースが多いため、あらゆる都市の歴史を辿るおもしろさを味わいつつ、各都市の市民に今も愛されている城郭跡の姿を記録したいと思った。

また「城郭史を知ることは都市空間を考える第一歩であり、現在と過去との絶え間ない対話が未来を創る。」をモットーに、建築設計とまちづくりの専門家として温故知新を実践している。

【公職歴（退任済みのもの含む）】

高石市空家等対策協議会 委員（H.30、R.1 年度）
熊取町空家等対策審議会 委員（R.1、2、3、4 年度～）
熊取町公民館・町民会館整備検討委員会 委員（R.2 年度）
熊取町公民館・町民会館基本設計策定委員会 委員（R.3 年度）
和泉市景観計画策定委員会 委員（R.4 年度～）
泉大津市文化財保護委員会 委員（R.4 年度～）

【資格等】

一級建築士 国土交通大臣登録 第 352634 号
二級建築士 大阪府知事登録 第 52882 号
既存木造住宅耐震診断講習修了者
既存住宅状況調査技術者
大阪府被災建築物応急危険度判定士
広域災害調査技術者

【設計略歴】

1985 年 堺市生まれ、和泉市育ち
2004 年 大阪府立鳳高等学校 卒業
2009 年 京都府立大学人間環境学部環境デザイン学科 卒業
2009～2011 年 株式会社莫設計同人 勤務
保育所や障害者・高齢者施設の設計を担当し、社会福祉施設のあるべき姿を模索した
2011～2013 年 小田裕美建築設計事務所株式会社 勤務
社会福祉施設に加え、住宅や事務所・商店建築を担当し、広く社会の需要に応える設計の在り方を追求した
2013～2015 年 住友不動産株式会社住宅再生事業本部 勤務
主に住宅やアパートなどの小規模建築の再生・改修を数多く手がけ、暮らしに密接に関わる幅広い需要に応えてきた
2015 年 北條建築事務所 設立
専門性の高い医療・社会福祉施設の設計を主軸としつつ、住宅や宿泊施設、事務所、商店建築など、用途・構造・規模、新築・改修問わず、幅広い設計活動を行ってきた
2018 年 株式会社 北條建築事務所 改組